

# 農村舞台

## アートプロジェクト2022

入場料  
1,000円  
中学生以下無料  
8/7(日)より  
豊田市民文化会館  
稲武交流館  
にて販売



### 小田木人形座 旗揚げ公演

令和4年9月24日(土)  
14:00~15:00 開場13:30

小田木町八幡神社  
豊田市小田木町シッタキ(豊田市稲武地区)  
※雨天時 稲武交流館

少なくとも100年以上続いていた小田木の人形浄瑠璃が途絶えたのは、全国的な飢饉(きま)に見舞われた1875年のことです。後約令により、歌舞伎や浄瑠璃への取り締まりが厳しくなり、140年近く公演されませんでした。

その小田木人形座を復活させようとする有志が集まったのは、2013年(平成25年)1月。古い文献や、教えてくれる人もいない中、岐阜や長野、大阪などの人形座の協力を経て、小田木人形座を復活することができました。

今回が、満を持しての、「旗揚げ公演」となります！

### 演目

- ・ 三番叟 さんばそう
- ・ 壺坂靈験記 つぼさか  
れいげんき
- 内の段 うちのだん
- 山の段 やまのだん

場所はこちら



主催:公益財団法人豊田市文化振興財団  
協力:豊田市稲武コミュニティ文化部会 小田木町自治会  
問い合わせ:公益財団法人豊田市文化振興財団 文化事業課(月曜休館) 0565-31-8804



## 演目紹介

さんばそう  
起源は平安時代頃。 **三番叟**

能から始まったお祝いのめでたい舞。五穀豊穡、天下泰平、子孫繁栄を願います。

今でも、地域のお祭りでこどもが踊ることもあります。

歌舞伎でもいろいろな種類のある奥の深い踊りです。



作者不明の浄瑠璃『観音霊場記』を二世豊沢団平・加古千賀女夫妻が加筆・作曲し、1879年に大阪で初演された作品。

つぼさかれいげんき  
**壺坂靈験記**  
うち  
**内の段**  
やま  
**山の段**

盲目の三味線弾きの沢市とその妻・お里の話。お互いに夫婦で思いやりあったがゆえに、悲劇が起こり、壺坂寺本尊の十一面観音が救済するお話です。歌舞伎、講談でも演じられ、浪曲にも取り入れられ、人気のある作品です。

今回の 内の段・山の段は、壺坂靈験記の途中までのお話になります。



農村舞台アートプロジェクト2022  
その他のライブのお知らせ

いこまいライブin西中山

令和4年9月10日(土)  
18:00開演

自由席  
入場料1,000円  
中学生以下無料  
西中山町八柱神社  
※雨天時西中山区民会館

箏、フラメンコ、太鼓